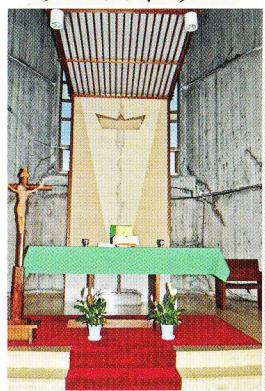


## 聖 堂

祭壇正面奥のタペストリーは、西陣織で、聖靈降臨を象徴する鳩、王であるキリストの冠、人々がキリストと結ばれている有り様を表わすぶどうの木で構成されています。十字架上のキリスト像、祭壇および朗読台、会衆座席などの内装・調度品は聖堂内で独特の調和を保ち、祈りの場にふさわしい雰囲気を高めています。



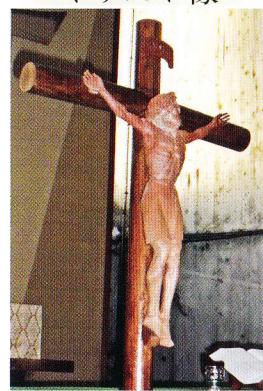
タペストリー



象 徵

- ・王冠 : キリスト
- ・鳩 : 降り注ぐ聖靈
- ・ぶどうの木 : キリストに結ばれる民

キリスト像



## 沿革

当教会は、1955年西院教会巡回教会として創立されました。1958年11月、桂教会として独立。1965年10月、「王であるキリスト」新聖堂献堂式を挙行。設計は著名な建築家・木工作家であるジョージ・ナカシマ氏による双曲放物面(HPシェル)形状・鉄筋コンクリート構造の建築物として斬新さが今なお、際立ちます。

1999年11月新ホール祝別式を挙行。新ホールは、聖堂との調和が図られた設計で、屋根形状は緩やかな円弧を描き、シャープな聖堂の形状と好対照を成しています。2006年8月、当教会聖堂が日本建築学会から「日本におけるモダン・ムーブメントの建築115選(2005年追加選定)」に認定されました(DOCOMOMO Japan)。2014年12月、京都市から「京都を彩る建物や庭園」に選定されました。

2008年10月創立50周年を迎え、さらに2015年11月、献堂50周年の記念ミサを行いました。

### 交通案内

阪急桂駅・西口から南西へ徒歩約5分



カトリック京都司教区

# カトリック桂教会へ ようこそ



カトリック桂教会聖堂  
1965年10月31日 献堂式

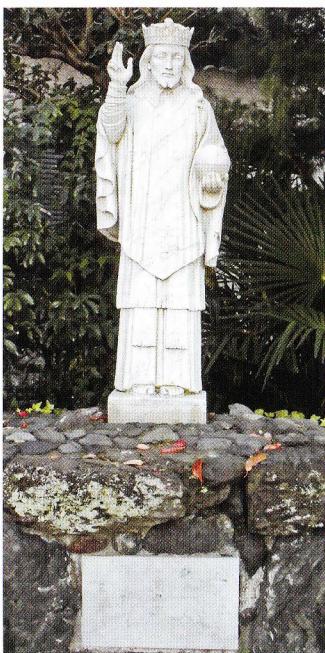
住 所：〒615-8196  
京都市西京区川島尻堀町30

電 話：(075) 381-3268  
F A X：(075) 381-3269  
E-mail：catholic\_katsura@nifty.com

### ホームページ

カトリック桂教会  
<http://catholic-katsura.life.coocan.jp>  
カトリック京都司教区  
<http://www.kyoto.catholic.jp>

## 王であるキリスト像



桂教会聖堂は、王であるキリストに捧げられています。この世ではなく、神とともにすべてを治めておられる主キリストをたたえます。

この王様は、慈愛に満ち、わたしたちに親しく語りかけ、わたしたちの弱さに寄り添って下さいます。

わたしたち一人ひとりは、この王様であるイエス・キリストと一緒に、愛がすべての源である神の国を造っていきます。

### 王であるキリストの主日

カトリック教会暦の祭日で、前年の待降節主日に始まった年間の最終の主日。

その翌週から新しい暦の始まりとなって待降節に入り、主キリストの到来を待ち望みます。

## ～はじめて教会に来られた方へ、教会に来られることのない方へ～

『神は愛です(ヨハネ4:16)』その神は、天地万物を創造されました(創世記1:1、イザヤ40:28参照)。人も神によって創造されたわけです。その『神は御自分にかたどって人を創造され』ました(創世記1:27)。

しかし、人は、罪を犯し、死がすべての人に及ぶことになりました(創世記3、ローマ5:12参照)。そんなわたしたちを愛してください神は、わたしたちの罪を償ういけにえとして、その独り子であるイエス・キリストをこの世にお遣わしになられました(ヨハネ4:9-10参照)。今からおよそ2000年前のできごとです。

イエス・キリストは、預言者ダビデの子孫ヨセフとおとめマリアとの子として、ユダヤのベツレヘムでお生まれになられました(ルカ1:27、2:4-7参照)。そして、ここには、書き切れないほどのたくさんのことを行なされました。

例えば、目の見えない人を見るようにされたり、死者を生き返らせられたり、貧しい人たちに福音(良い知らせ)を告げ知らされたりされました(マタイ11:5参照)。

ミサ(感謝の祭儀)などでも唱える主の祈りという祈りを教えられました。

また、弟子たちに、『わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい(ヨハネ15:12)』ともお命じになられました。

ところが、当時のある人々は、イエスを殺そうとねらうようになりました。神を御自分の父と呼んで、御自身を神と等しい者とされたなどの理由によります(ヨハネ5:18など参照)。そして、イエスを十字架につけて殺してしまいました。しかし、『イエスが死に支配されたままでおられるなどということは(使徒言行録2:24)』ありえず、三日目に復活し、弟子たちなどに現れ(ヨハネ19-21参照)、そして、『天に上げられ、神の右の座に着かれました(マルコ16:19)』。

教会では、このイエス・キリストの受難・復活・栄光を記念して、その復活された週の初めの日(日曜日)などにミサなどを捧げ、神の言葉を聞いたり、神に感謝したりしています。

ミサの中では、初聖体という秘跡を受けた信者の内、希望する者は、ご聖体という白いパンを頂きます。これは、イエス・キリストが十字架につけられる前に行なった最後の晩餐の時に、パンと杯を取り、弟子たちに与えて「これは、あなたがたのために渡されるわたしの体である。これは、わたしの血である。記念としてこのように行いなさい」と言われたことによります(コリント11:23-25参照)。イエス・キリストは、弟子たちに、『二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである(マタイ18:20)』と言われました。

教会は、皆様のお越しをお待ちしております。